

哲 學 研 究

第 七 卷 第 一 冊

第 七 十 號

大 正 十 一 年 一 月 一 日 發 行

社會の地域的解放……………文學士 高田保馬

カントの平和觀に就て……………文學博士 朝永三十郎

個性の問題……………文學士 三木清

文化價值體系問題(二)……………文學博士 米田庄太郎

彙報其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

| | |
|------|-------|
| 文學士 | 植田壽藏 |
| 文學博士 | 狩野直喜 |
| 文學博士 | 小西重直 |
| 文學士 | 澤村專太郎 |
| 文學博士 | 高瀬武次郎 |
| 文學博士 | 田邊元 |
| 文學士 | 千葉胤成 |
| 文學博士 | 朝永三十郎 |
| 文學博士 | 西田幾多郎 |
| 文學博士 | 野上俊夫 |
| 文學博士 | 波多野精一 |
| 文學博士 | 深田康算 |
| 文學博士 | 藤井健治郎 |
| 文學博士 | 松本文三郎 |
| 文學士 | 務臺理作 |
| 文學博士 | 米田太郎 |
| 寶嚴方夫 | |

書記

彙報

哲學會例會

十二月一日午後六時から學生集會場で左の講演開催。

個性の問題 文學士 三水 清君

西田、波多野、田邊博士等その他學生多數參會、本誌に掲載せられたる同君の論文はそれである。

社會學會例會

十二月十五日午後六時より學生集會場に於て左の講演會を開いた。

シタムラー「社會學の對象」 高橋 成之君

心理學讀書會例會

十二月一日(水)

Lalo; Le Mysticisme est 'trique, 大脇 義一

Linday; Personal Judgement, 岩井勝三郎

十二月九日(金)午後五時より學生集會場にて奈良女高師教授本庄精次氏外遊送別會を開き小宴終りて左の如き教授の講演を聞き又興味ある實驗報告に接したり。

Petts; Distributions and Functions of Mental Imagery.

教育研究會例會

本會々員、現大阪市視學山掛君が市の命により歐米各國の教育觀察に來月中旬出發する事になつたので、本月十七日夜同君の送別會を兼ねて例會を開き、同君から話を聞く事とした。氏は教育

行政の表裏と題し、物に就ては事業が先づありて理論は後に造られる事、人に關しては人を禦する方法、市の有力者との折衝法新聞記者との會談法等行政上の表裏に關し研究室の圖書中ではとても行かたき珍談を多數擧げ實際家に非常なるヒントを與へた。

寄贈書籍雜誌

悲劇の苦杯

東京 日野眞澄著
丙午出版社發行

美の本體と藝術の本質

高知 猪野純俊著
南詛書店發行

純粹經濟學の諸問題

法學士 山口正太郎著
岩波書店發行

ゴーン純粹認識の論理學

東京 文藝士 岩波書店發行

温かき大地

石川縣 曉草鳥敏著
香近義彌發行

社會改進黨の原理

東京 聖書改譯社發行

浪漫主義の世界觀及藝術觀

文藝士 高橋禎二著
東京 大村書店發行

倫理學の根本問題

文藝士 中込本治郎著
東京 大村書店發行

心理學概要

文藝士 城戸幡太郎著
同 城戸幡太郎著

明

文藝士 同 征矢野晃雄著
同 征矢野晃雄著

哲學研究、丁西倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、日華公論、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育學術、教育時論、國際聯盟

會 告

本誌十二月號附録の本會員名簿は從來のイロハ順を改めて五十音順と致し候、従つて本誌上掲載論説の順序も本號より五十音順に由ること、致し候間其旨御含み被下度候、また本誌二月號は發行所及印刷工場移轉事業のため豫定期日より若干遅れて發行と相成るべきかと存じ候間左様御承知置き被下度候。

大正十一年一月一日

京 都 哲 學 會

前 號 目 次

| | |
|--------------------------|-----------|
| カントに於ける認識客觀性の問題(承前)..... | 文學士 岡野留次郎 |
| 宗教と形而上學..... | 文學士 久保正夫 |
| 二點闕以下に於ける觸知覺型に就て..... | 文學士 岩井勝二郎 |
| 彙報、新著紹介、第六卷總目次..... | |

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前
表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ
御拂込被下度候
一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ
凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部 內
京都哲學會
振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内
外出版株式會社へ御申込下され度候
◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さる
べく候
◎振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五五番)内外出版
株式會社宛に願上候
◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺致すべきに
付直に御拂込下され度候
◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下
され度候

定 價

| | | | | | | |
|----|-------|---|---|---|---|---|
| 冊 | 數 | 定 | 價 | 一 | 冊 | 稅 |
| 一 | 冊 | 金 | 四 | 拾 | 錢 | 金 |
| 六 | 冊(前金) | 金 | 貳 | 圓 | 四 | 拾 |
| 十二 | 冊(前金) | 金 | 四 | 圓 | 八 | 拾 |
| | | 錢 | 不 | 申 | 受 | 錢 |

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十年十二月廿八日印刷納本
大正十一年一月一日發行
第七十號 第七卷 第一冊

不許複製
禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部內
京都哲學會

右代表者 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區西洞院七條下
内外出版株式會社
振替口座大阪三二九五五番

發賣元

京都市下京區西洞院通七條下
東京市京橋區加賀町十番地
内外出版株式會社
振替口座大阪三二九五五番

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
上田屋、(大阪) 盛文館、三文社
(神戸) 寶文館、川瀬書店
(京都) 共盛社

同志社
大學 教授 恒藤 恭 著

新 刊

批判的法律哲學の研究

| | | | |
|--------|---------|----------|------------|
| 菊判 四百頁 | 總 布 美 裝 | 定價 金 參 圓 | 送料 金 拾 貳 錢 |
|--------|---------|----------|------------|

カントによつて確立された批判的精神を法律哲學の方面に繼承し發展しやうとする見地に立つ學者の中の代表的な人々が、法律哲學の主要問題——(例へば、法律の本質の問題、法律の理想の問題、法律の最高法則の問題、法律學の研究方法の問題など)——について抱いてゐる思想なり見解なりを、能ふかぎり忠實に且つ正確に理解しやうと努めた試みの結果の一部が、この書にをさめた諸論稿である。……………(著者の序文より)

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十年十二月廿八日印刷納本(毎月一回一日發行)
哲學研究 第七十號 定價金四拾錢 郵税金壹錢

版穴座口替攝
卷五五九二三

社會式株版出外内

區京下市都京
下條七院洞西

所行發